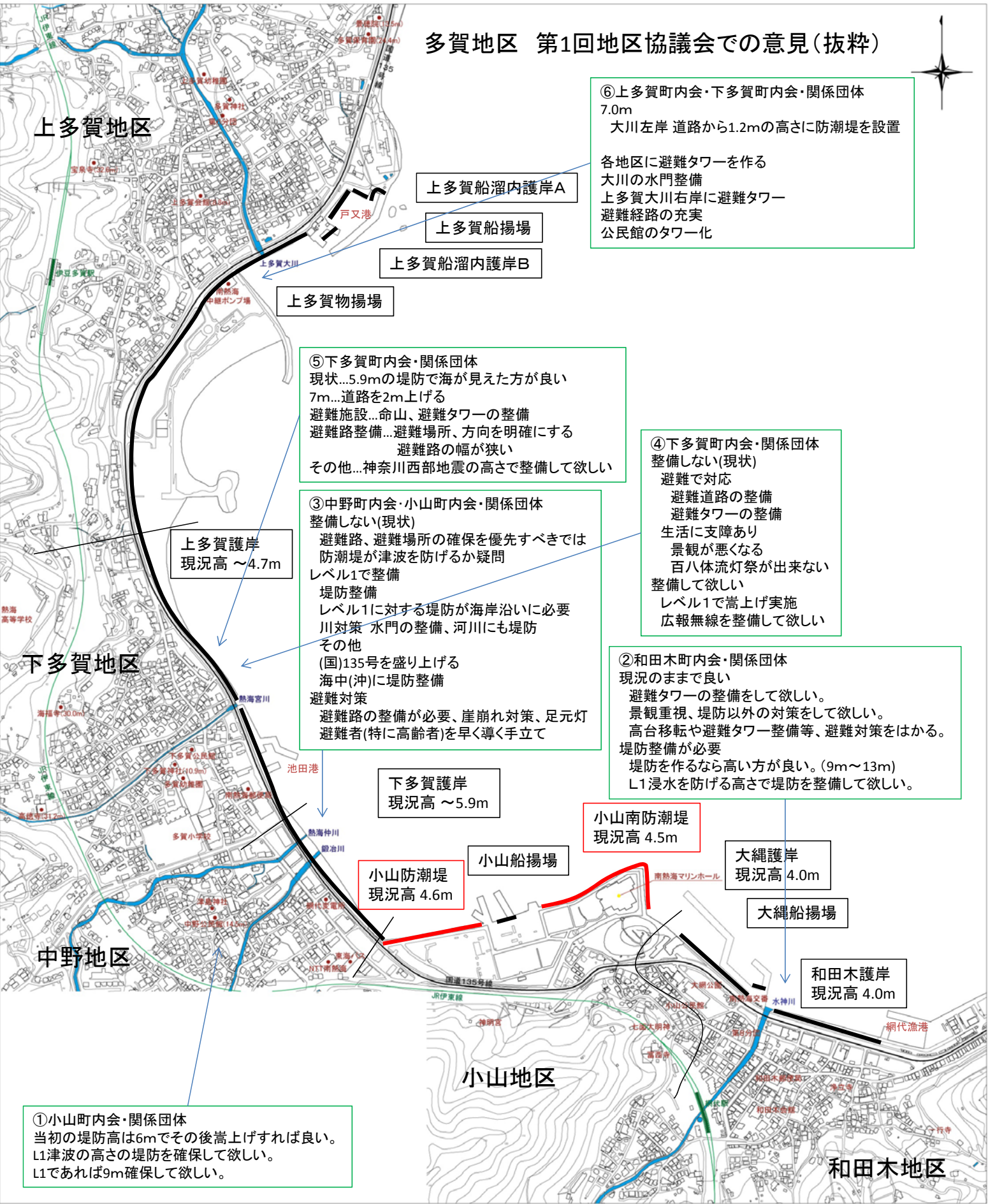


多賀地区 第1回地区協議会での意見(抜粋)



⑥上多賀町内会・下多賀町内会・関係団体
7.0m
大川左岸 道路から1.2mの高さに防潮堤を設置

各地区に避難タワーを作る
大川の水門整備
上多賀大川右岸に避難タワー
避難経路の充実
公民館のタワー化

⑤下多賀町内会・関係団体
現状...5.9mの堤防で海が見えた方が良い
7m...道路を2m上げる
避難施設...命山、避難タワーの整備
避難路整備...避難場所、方向を明確にする
避難路の幅が狭い
その他...神奈川西部地震の高さで整備して欲しい

④下多賀町内会・関係団体
整備しない(現状)
避難で対応
避難道路の整備
避難タワーの整備
生活に支障あり
景観が悪くなる
百八体流灯祭が出来ない
整備して欲しい
レベル1で嵩上げ実施
広報無線を整備して欲しい

③中野町内会・小山町内会・関係団体
整備しない(現状)
避難路、避難場所の確保を優先すべきでは
防潮堤が津波を防げるか疑問
レベル1で整備
堤防整備
レベル1に対する堤防が海岸沿いに必要
川対策 水門の整備、河川にも堤防
その他
(国)135号を盛り上げる
海中(沖)に堤防整備
避難対策
避難路の整備が必要、崖崩れ対策、足元灯
避難者(特に高齢者)を早く導く手立て

②和田木町内会・関係団体
現況のままで良い
避難タワーの整備をして欲しい。
景観重視、堤防以外の対策をして欲しい。
高台移転や避難タワー整備等、避難対策をはかる。
堤防整備が必要
堤防を作るなら高い方が良い。(9m~13m)
L1浸水を防げる高さで堤防を整備して欲しい。

①小山町内会・関係団体
当初の堤防高は6mでその後嵩上げすれば良い。
L1津波の高さの堤防を確保して欲しい。
L1であれば9m確保して欲しい。

上多賀護岸
現況高 ~4.7m

下多賀護岸
現況高 ~5.9m

小山防潮堤
現況高 4.6m

小山南防潮堤
現況高 4.5m

大縄護岸
現況高 4.0m

和田木護岸
現況高 4.0m

上多賀船溜内護岸A

上多賀船揚場

上多賀船溜内護岸B

上多賀物揚場

小山船揚場

大縄船揚場

小山地区

和田木地区

上多賀地区

下多賀地区

中野地区